

国語科学習指導案

令和元年10月8日(火) 第5校時 1年1組(教室) 男子10名 女子15名 計25名

<p>＜単元・題材名＞</p> <p>調べたことを報告しよう レポートにまとめる (光村図書)</p>	<p>＜学習指導要領上の位置づけ＞</p> <p>「B 書くこと」</p> <p>第1学年のA 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p>
<p>＜単元・題材の目標＞</p> <p>課題に合わせて、集めた材料を整理し、調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。</p>	
<p>＜最適な言語活動＞</p> <p>合唱コンクールに向けて、歌詞を深く理解するためのレポートを作ろう。 (言語活動設定の意図)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事との関連を図ることで、生徒に目的意識と課題意識をもたせることができる。 ・歌詞の中の言葉について注目することで、語彙を増やし、語感を磨くことができる。 ・レポート形式にまとめることで、読み手(相手)を意識した客観的な文章を書く力を付けることができる。 ・客観的な文章を書くためには、さまざまな情報が必要になり、情報収集活動の充実を図ることができる。 	
<p>評価 規 準</p>	<p>関・意・態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に沿って資料を積極的に集めて、調べている。 ・友達のレポートの優れた点を見だし、学び合おうとしている。
	<p>知識 及び 技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現や見出し、数値など、語句・表現に注意して書いている。
	<p>思考力、 判断力、 表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な資料を適切な方法により収集している。 ・必要な情報を取捨選択して書いている。 ・調べたこと(事実)と自分の意見・感想を書き分けたり、構成を工夫したりするなど、相手意識をもってまとめている。 ・レポートを読み合い、助言したり自分の表現に生かしたりしている。
<p>生徒 の 実 態 把 握</p>	<p>＜本単元につながる既習の学習内容や活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生において「活動を報告した文章を書く」という学習や「グラフや表を使って説明する」という学習に取り組んでいる。 ・小学校学習指導要領には、書く活動において、さまざまな取材方法(インタビューやアンケート)を指導するとあり、取材活動を体験している。
	<p>＜既習の学習内容や活動に関わる生徒の実態＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NRT検査の結果では、「書くこと」の分野では全国比124と大きく上回ってはいるが、正答率は60.4であり、課題が見られる。 ・1学期に「言葉を集めようーもっと『伝わる』表現を目ざして」の学習では、必要な情報が足りず、何について紹介しているのかが分からなかったり、不必要な情報によって魅力が伝わりにくかったりしていた。情報収集の力、材料を取捨選択する力に課題が見られた。特に、必要な情報をうまく収集できずに悩む姿が見られた。 ・文末表現が統一されていなかったり、主語と述語のつながりが不適切であったりするなど、言語表現における知識及び技能が不十分である。

学習 過程	時間	伸ばしたい資質・能力 ＜評価の観点＞	中心となる学習活動
第 1 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の見通しをもち、合唱コンクールのクラス曲の歌詞の中からレポート課題を設定することができる。 ・課題に対して情報収集の方法について見通しをもつことができる。 <p>＜書くことについての思考、判断力＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の学習の流れをつかむ。 ・学年合唱曲の歌詞の中から教科書の課題例を参考に、報告する課題を決め、情報収集の見通しをもつ。
第 2 次	2 3	<p>情報収集①自分の課題に対して適切な資料を、必要な情報を簡潔に書き出すことができる。</p> <p>＜書くことについての思考、判断力＞</p> <p>情報収集②集めたい情報に合わせて、①を元にインタビューやアンケートの試作原稿を作成することができる。</p> <p>＜書くことについての思考、判断、表現力＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典・類語辞典、インターネットを活用して課題についての資料を集め、情報を記録する。 ・課題についての資料として、インタビューやアンケートを作成する。
本 時	4	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ間で作成したインタビューやアンケートを試し、自分のレポートに役立てるためのよりよいインタビュー原稿やアンケート原稿に練り直すことができる。 <p>＜書くことについての思考、判断、表現力＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作成したインタビューやアンケートをグループ間で試して、必要な情報を得るために適したものかどうか意見交流する。 ・友達からのアドバイスを参考にして原稿を練り直す。

	〈授業時間外の活動〉 ・インタビューやアンケートを実施し、情報収集活動に取り組む。	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを的確に伝えるための情報を取捨選択することができる。 レポートの全体構成について理解し、設定した課題に沿って、「調査の結果」の構成をすることができる。 <p>〈書くことについての思考、判断、表現力〉</p>
第3次	6	<ul style="list-style-type: none"> レポートを読み合い、根拠の明確さなどについて助言し合ったり、自分のレポートのよい点や改善点を見いだしたりできる。 <p>〈書くことについての思考、判断、表現力〉</p>

展開（4／6時間）

ねらい：試作したインタビューやアンケートをグループ間で試し、互いに意見交流する活動を通して、自分のレポートに役立てるためのよりよいインタビュー原稿やアンケート原稿に練り直すことができる。

準備	教科書、前時に作成したアンケートのコピー、原稿、付箋、学習計画表	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される生徒の反応（意識）	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的 ○手立て、配慮事項 ◇評価
7分	<p>＜学習課題の把握＞</p> <p>1 前時の学習の振り返りを行うとともに、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】自分のレポートに必要な情報を得るためのインタビューやアンケートの原稿を作成するにはどのようなことが必要かを考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時のめあて</p> <p>レポートの資料として役に立つインタビューやアンケートになっているかをグループで試し、練り直そう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習の見通しをもたせるために、</p> </div> <p>○回答者のもつ言葉のイメージを深めることができなアンケートやインタビューの例を提示する。</p>
25分	<p>＜課題の追究＞</p> <p>2 試作したインタビューやアンケートをグループ間で試し、アドバイスをし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈インタビュー班〉</p> <p>・同じグループのインタビュアーとペアになり、一人は他のグループの試作インタビューに答えたり、自分の試作インタビューを試したりする。もう一人はその様子を見ておき、次のグループへ試す前に改善点があれば助言できるようにする。</p> </div> <p>○回答者の答えの理由を尋ねることで、よりイメージを引き出すことができる。</p> <p>○自分でいくつか回答を想定しておくことで、回答者が答えにくそうにした時に具体例を示すなど柔軟な対応ができる。</p> <p>○自分が回答者になってみることで、答えにくい質問の仕方が</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>具体的なアドバイスをさせるために、</p> </div> <p>○インタビュー班、アンケート班に分かれさせ、時間を区切って活動させる。</p> <p>○アドバイスをする時の視点について確認する。</p> <p>①回答者のもつ言葉のイメージを引き出せるインタビューやアンケートになっているか。</p> <p>②回答者の言葉の捉え方を引き出すインタビューやアンケートになっているか。</p> <p>○視点についてクリアできていたかチェックする欄と、アドバイスや感想を記述できる欄を設けたワークシートを準備する。</p>

わかる。

〈アンケート班〉

- ・各グループの机上に試作アンケートと、付箋を貼れるワークシートを準備しておく。
- ・順番に他のグループの試作アンケートに答え、視点についてのアドバイスや感想を付箋に書いて貼る。

- 選択肢の種類や内容を工夫したり、理由を尋ねたりすることで、よりイメージを引き出すことができる。
- 選択式だけでなく記述式の回答欄を作ることで、多様な答えや答えの理由を書いてもらうことができる。

10分

3 友達のアドバイスを参考にして、原稿を練り直す。

- 自分のレポートの伝えたいことを明確にするための資料として使えるように、回答者のもつ言葉のイメージや言葉の捉え方を引き出す質問を取り入れたい。
- 「はい・いいえ」だけで終わらない質問に変えるために、その答えに応じたさらなる質問を増やしたい。
- 回答者が答えやすいように、質問の順番を変えたい。

アドバイスを元に、よりよい原稿に練り直すために、

- レポート班、アンケート班のそれぞれで得た他のグループからのアドバイスをグループ全員で情報共有する時間を設定する。
- グループ内での共有が終わったら、アドバイスを参考にしながら、よりよい原稿になるように元の原稿に朱書きさせる。
- 書かれたアドバイスを見ても改善策がわからない時には、アドバイスを書いてくれた生徒のところへ出向き、教えてもらえる機会を設ける。
- 書かれたアドバイスからだけではなく、他のグループへアドバイスした立場から気付いたことも参考にするよう助言する。

◇評価

友達のアドバイスを参考にして、自分のレポートに役立てるためのアンケートやインタビューの原稿を練り直している。

〈ワークシート〉

【書くことについての思考、判断、表現力】

8分

〈本時のまとめと振り返り〉

4 本時の振り返りをする。

- インタビューやアンケートを作成するときには、一問一答ではなく、理由を尋ねたり、具体的に考えを引き出すような質問をする。
- 相手の考えを引き出すために、質問を徐々に具体的にしていたり、理由を聞いていたりする。
- 今日練り直したインタビューの方法を、総合学習の外部講師

本時を振り返り、今後の学びへとつなげていくために、

- 導入で扱ったインタビューとアンケートを再度提示し、本時の学びを振り返ることができるようにする。
- 振り返りの視点として以下の2点を提示する。

の方への質問や新聞作りの時などに活かしていきたい。

- ①必要な情報を得るためのインタビューやアンケートを作成するために必要なことはどのようなことかをまとめる。
- ②本時で学んだことを今後、どのような場面で活用できるかを考える。